

第6学年 国語科 学習指導案

指導者 大友 真紀

場 所 6年A組教室

1 単元名 相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう
「おすすめパンフレットを作ろう」

2 単元で育成する資質・能力

- (1) 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づき、文章の構成や展開について理解することができる。 (知識及び技能)
- (2) 相手や目的を考えて、引用したり、写真などを用いたりするなど、書き表し方を工夫することができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- (3) 積極的に、語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って意見を述べる文章を書こうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ① 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ② 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 伝えたいことに合った文章を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 進んで引用したり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって推薦したいものをパンフレットにまとめようとしている。 ② 作品のよさを味わい、感想や意見を伝えあおうとしている。

4 資質・能力系統表との関連について

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用して情報を集めることができる。(情報活用力)	目的や状況に応じて、考えの根拠を示しながら表現することができる。(課題解決力)	友達の思いや考えを大切にしてい、より深い答えを求めようすることができる。 (つながる力)

5 単元について

(1) 教材観

本単元では、おすすめのパンフレットを作る活動を通して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する学習である。音楽や本、アニメなど、元気になったり感動したりする経験は児童によって異なる。取り上げるテーマを一人一人の興味・関心に基づいて決定できるようにすることで、その物や作品のいいなと思ったことが最も伝わる言葉を引用し、自分の考えを書き表せるように指導していく。その際、どのような人に伝えたいか、相手意識を明確に持たせることが大

切になる。低学年に向けてなのか、同学年に向けてなのか、具体的な相手を意識しながら取り組むことで、自分の伝えたいことを相手に分かってもらうにはどう表現したらよいのか考えさせたい。また、言葉の選び方にも着目させ、どのような言葉を選ぶと読む人の心を動かすことができるのかを吟味させたい。

(2) 指導について

本単元では、それぞれの興味や関心によってグループを作成し、分担して推薦する文章を書いていく。そのため、テーマ設定や構成、見出し、文章の記述まで、グループ内で情報を共有し、書き方を確認し合う必要がある。特に文章の記述では、客観的な視点からの助言をし合い、互いの表現から学んだり、気づいたりしていけるように指導していく。

最後に、読みあって感想を伝えあう活動を通して、互いのことを理解し、互いを尊重し合う意識が高まるように指導していく。

6 学習の計画と評価 (6時間扱い)

次	時	学習内容 ・活動	・配慮事項 ◆資質・能力系統表 ◎評価（資質能力） ●指導に生かす評価
第一次	1	<p>おすすめを紹介し、パンフレットを作るという見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな映画や音楽、本などについてどんなところがいいのか振り返る。 おすすめしたいもので分かれ、グループをつくる。 <p>グループで推薦したいものを決めて、情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな人にどんなものを推薦したいか決める。 情報を集める。 	<p>◎記述（知①）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を参考にさせる。 図を使い、考えをまとめやすくする。 <p>◆情報活用力</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習の見通しをもち、自分なりの手段で情報を集めることができたか。
第二次	2 3 4 5 本時 4 ／ 6 （	<p>集めた情報を基に、グループでパンフレットの構成を考え、担当を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図を使って集めた情報を整理する。 ミニ冊子、パンフレットを作る。 全体の構成を考え分担を決める。 担当するページの割り付けと、文章の構成を考える。 <p>推薦する文章を書き、グループ内で推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成、「初め・中・終わり」に基づいて文章を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> 印象的な言葉を文頭に置いたり、見出しを工夫したりして、書き表し方を工夫する。 自分の考えが伝わる文章になっているか、グループで読みあい、書いた内容を推敲する。 <ul style="list-style-type: none"> グループのテーマに沿っているか確認し、全体の体裁を整え、完成させる。 	<p>◎発言・記述（知②）</p> <p>◆課題解決力、つながる力</p> <ul style="list-style-type: none"> ●よりよい構成について、考えを伝えているか。 <p>◎記述（思①主①）</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことに合った文章を引用し、写真などを選ぶ。 考えが伝わるように、書き表し方を工夫させる。 全体としてまとまりがあるか見直しをさせる。 ●伝えたいことに合った文章を引用したり、写真を選んだりして、自分の考えをまとめることができているか。 <p>◆課題解決力、つながる力</p>
第三次	6	<p>読みあって感想を伝えあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の作品を読んだ感想を書き、交流する。 	<p>◎記述（主②）</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んだ感想を書き、相手に伝える。 ●作品のよさを感じているか。 ◆つながる力

7 本時の展開

(1) 本時の育成を目指す資質・能力

伝えたいことに合った文章を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (思考・判断・表現)

(2) 資質・能力系統表からの視点

友達の思いや考えを大切に、より深い答えを求めようとする事ができる。

(つながる力)

(3) 本時の展開

	○学習内容・学習活動	◇指導上の留意点 ◆資質・能力系統表 ◎評価規準(評価方法) ●指導に生かす評価
導入 5分	○前時を振り返り、本時の見通しを持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">読んだ人の共感を得るにはどんな表現にするとよいか、グループで書き表しかたを工夫しよう。</div> ○教科書P108で学習したことや、教科書P109の観点を確認する。	◇前時で作った文章を元に、書き表したい表現やふさわしい表現について考えさせる。
展開 35分	○グループ内で作った文章を見直し、表現を工夫して書き直す。 ○書き直した文章と、表現の工夫やその意図、作品の統一感について交流する。	◇伝えたい情景が読む人に伝わるか、表現に使った言葉が適切か考え、修正させる。 ◇表現の工夫について考えるのが難しい児童には、表したいことに合う言葉を選べるように声かけをする。 ◎伝えたいことに合った文章を引用したり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりしている(思考・判断・表現) ◆友達の思いや考えを大切に、より深い答えを求めようとする事ができる。 ◇全体を振り返ることで、自分では気付かなかったことを教えてもらう良さに気づかせる。 ●文章の構成や展開を考え、見直すことができているか。
まとめ 5分	○本時の学習の振り返りと次時の確認する。	◇読んだ人の共感を得る表現に近づけることができたか振り返る。

(4) 評価規準

【評価B】

伝えたいことに合った文章を引用したり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりしている。

【評価A】

伝えたいことに合った文章を引用したり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりして、表現力豊かに自分の考えを書き表している。

【評価C】

伝えたいことに合った文章を引用したり、自分の考えが伝わるように書き表したりできない。

【努力を要する状況と評価した児童に対する指導の手立て】

伝えたいことは何かを明らかにし、教科書の巻末「言葉の宝箱」を活用し、伝えたいことに合う言葉を選べるように支援する。